

平成 29 年度 歯科医療費の動向に関する調査

令和元年 8 月
健康保険組合連合会
IT 推進部データ分析推進グループ

【調査の概要】

本調査は、平成 29 年度の 1,280 組合における「医科」・「歯科」の電算処理レセプト(2 億 962 万 5,024 件)をもとに、1 人当たり医療費や医療費 3 要素等について、歯科医療費の動向を考察したものです。

調査対象とした歯科医療費は、歯科レセプトのうち、疾病 19 分類の「11.消化器系の疾患」における「1101.う蝕」、「1102.歯肉炎及び歯周疾患」、「1103.その他の歯及び歯の支持組織の障害」を対象としています¹。また、統計上、疾病 19 分類については、同 3 疾患を別掲にて「歯及び歯の支持組織の障害」として区分し、追加しています。

【調査結果のポイント】

疾病 19 分類別・歯科 3 疾患別にみた歯科受診率：

疾病 19 分類別に受診率をみると、「歯及び歯の支持組織の障害」は「呼吸器系の疾患」に次いで高く、1,000 人当たり 1,493.3 件となっている。歯科 3 疾患別にみると、「歯肉炎及び歯周疾患」が最も高く、1,000 人当たり 1,224.5 件となっている(p.4,p.6)。

疾病 19 分類別にみた歯科医療費及び医療費構成割合：

医療費(調剤を除く)：約 3 兆 1,114 億円のうち、歯科医療費は約 4,750 億円で全体の 15.3%を占め、歯科疾病を含む疾病 19 分類のうち最も高い(p.9,p.10)。

歯科 3 疾患別医療費及び医療費構成割合：

歯科 3 疾患別に医療費の内訳をみると、「歯肉炎及び歯周疾患」：約 3,930 億円が最も高く、全体の約 8 割を占めている(p.12)。

年齢階層別にみた歯科 3 疾患医療費及び医療費構成割合：

年齢階層別の歯科医療費は 45-49 歳が最も高く、次いで、40-44 歳、50-54 歳の順となっている。医療費構成割合をみると、0～14 歳では「う蝕」が比較的大きな割合を占め、また、どの年齢階層においても「歯肉炎及び歯周疾患」の割合が高い(p.14)。

歯科 3 疾患別 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素：

歯科 3 疾患別の 1 人当たり医療費は「歯肉炎及び歯周疾患」：1 万 4,122 円が圧倒的に高く、医療費 3 要素をみると、受診率が他の疾患に比べて高い数字を示している(p.15)。

¹ 同 ~ の 3 疾患の医療費計で歯科医療費全体の約 95%を占めている。

対象疾患名及び疾病コード

	疾患名	疾病コード
歯及び歯の支持組織の障害	う蝕	1101
	歯肉炎及び歯周疾患	1102
	その他の歯及び歯の支持組織の障害	1103

レセプトデータの概要

レセプト種別	件数	医療費
医科レセプト	1億6,807万3,153件	2兆6,363億9,397万2,334円
歯科レセプト (疾病コードが1101、1102、1103)	4,155万1,871件	4,750億1,713万5,810円
合計	2億962万5,024件	3兆1,114億1,110万8,144円

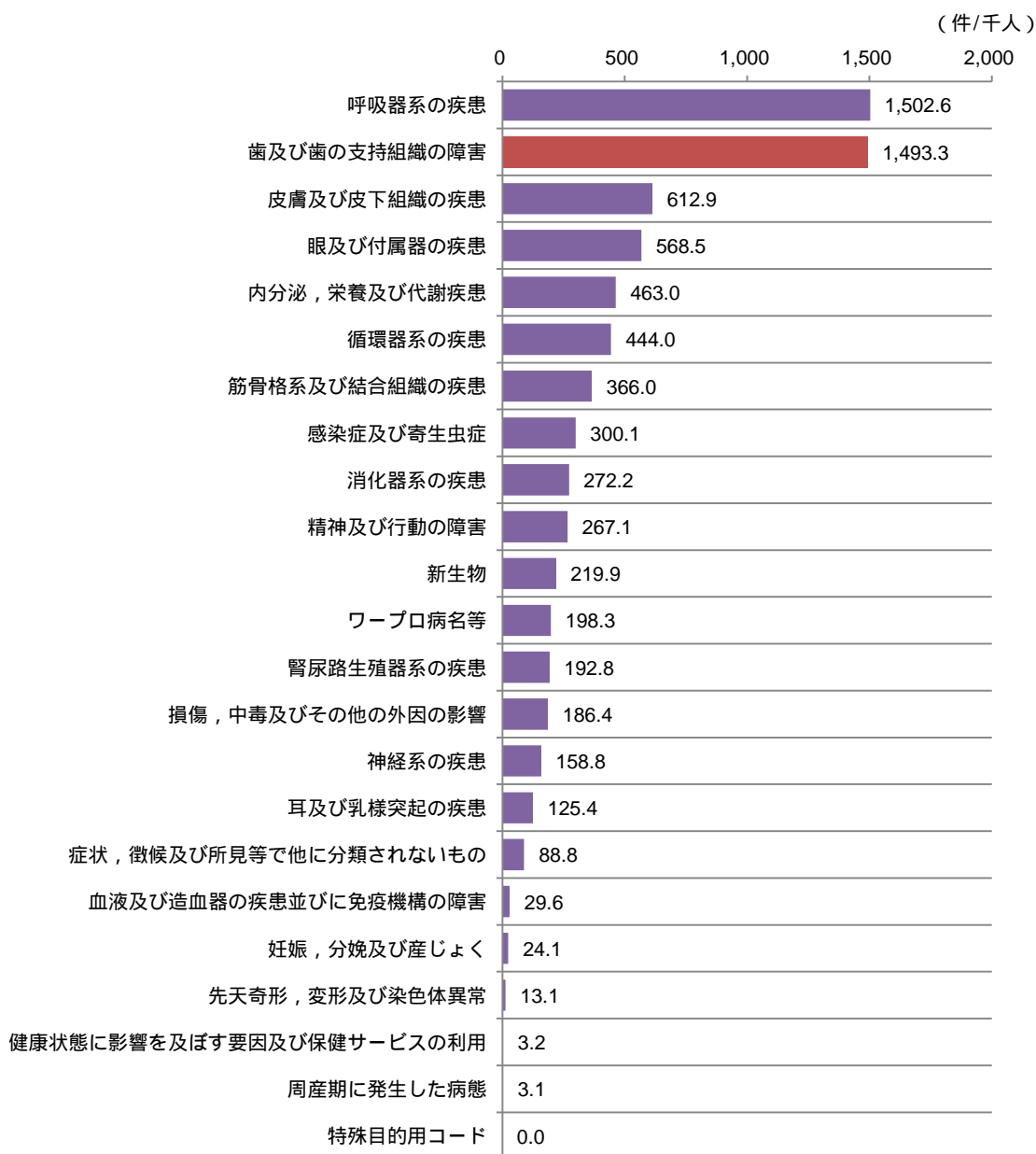
目次

1 . 疾病 19 分類別にみた歯科受診率 (1,000 人当たり件数)	4
2 . 年齢階層別にみた歯科受診率 (1,000 人当たり件数)	5
3 . 歯科 3 疾患別受診率 (1,000 人当たり件数)	6
4 . 年齢階層別にみた歯科 3 疾患別受診率 (1,000 人当たり件数)	
(1) う蝕	7
(2) 歯肉炎及び歯周疾患	8
(3) その他の歯及び歯の支持組織の障害	8
5 . 疾病 19 分類別にみた歯科医療費及び医療費構成割合	9
6 . 疾病 19 分類別にみた 1 人当たり歯科医療費	11
7 . 歯科 3 疾患別医療費及び医療費構成割合	12
8 . 年齢階層別にみた歯科 3 疾患医療費及び医療費構成割合	14
9 . 歯科 3 疾患別 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素	15
10 . 年齢階層別にみた歯科 3 疾患別 1 人当たり医療費	
(1) う蝕	17
(2) 歯肉炎及び歯周疾患	18
(3) その他の歯及び歯の支持組織の障害	19
 [参考資料] 歯科疾患別・年齢階層別 1 人当たり医療費	
(1) う蝕	20
(2) 歯肉炎及び歯周疾患	21
(3) その他の歯及び歯の支持組織の障害	21
[参考資料] 歯科疾患別医療費 3 要素	
・ う蝕 (本人・家族)	22
・ 歯肉炎及び歯周疾患 (本人・家族)	24
・ その他の歯及び歯の支持組織の障害 (本人・家族)	26
留意点及び用語の解説	28

1. 疾病 19 分類別にみた歯科受診率（1,000 人当たり件数）²

疾病 19 分類別に受診率をみると、「歯及び歯の支持組織の障害」（う蝕、歯肉炎及び歯周疾患、その他の歯及び歯の支持組織の障害。以下、同じ）は「呼吸器系の疾患」に次いで高く、1,000 人当たり 1,493.3 件となっている。

図1 疾病19分類別受診率（1,000人当たり件数）
<合計>



² 当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者の和を12で除したもの）で除し1,000倍したものである（以下、同じ）。

2. 年齢階層別にみた歯科受診率（1,000人当たり件数）

年齢階層別に「歯及び歯の支持組織の障害」の受診率をみると、0-14歳で高い数字を示しており、15-19歳以降、年齢階層が上がるにつれて高くなっている。

「本人」「家族」別にみると、「家族」の受診率が高い傾向にある。

図2 年齢階層別受診率（1,000人当たり件数）

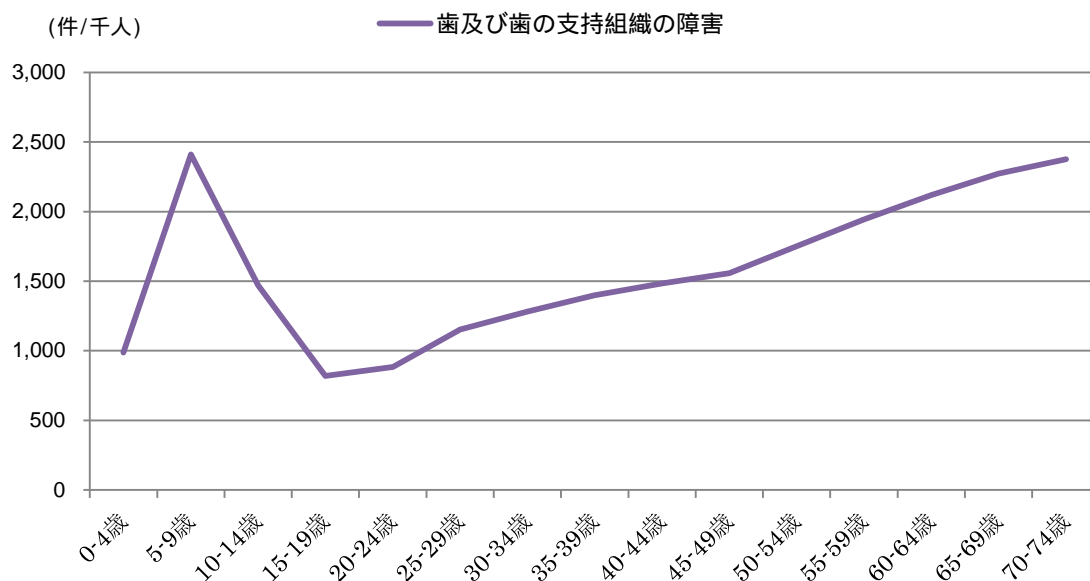
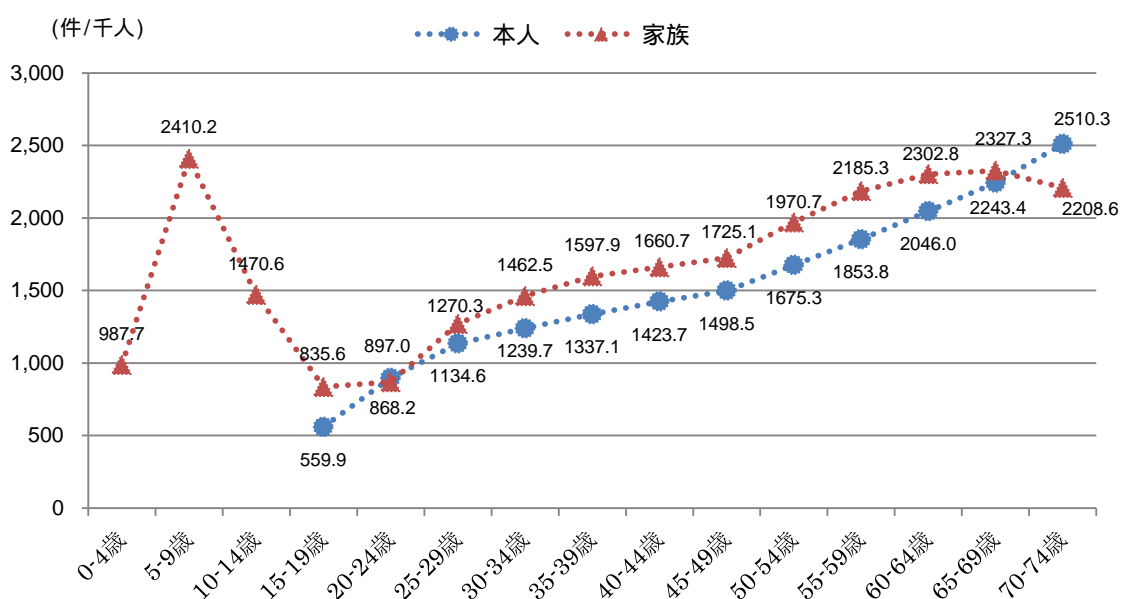


図3 年齢階層別受診率（1,000人当たり件数）



3. 歯科3疾患別受診率（1,000人当たり件数）

歯科3疾患別に受診率をみると、「歯肉炎及び歯周疾患」が最も高く、1,000人当たり1,224.5件となっている。

「本人」・「家族」別にみると、「歯肉炎及び歯周疾患」は「本人」のほうが高く、「う蝕」及び「その他の歯及び歯の支持組織の障害」は「家族」のほうが高い。

図4 歯科3疾患別受診率（1,000人当たり件数）
<合計>

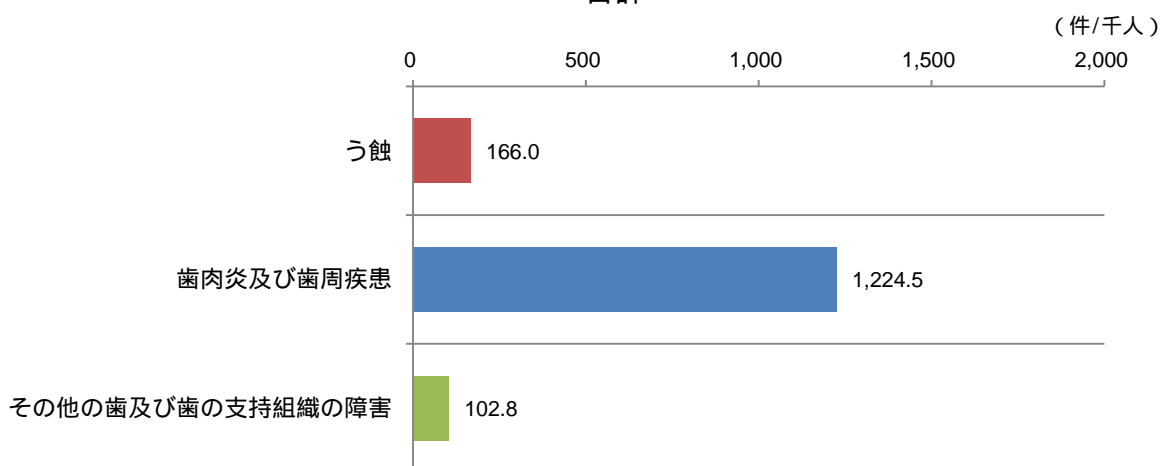
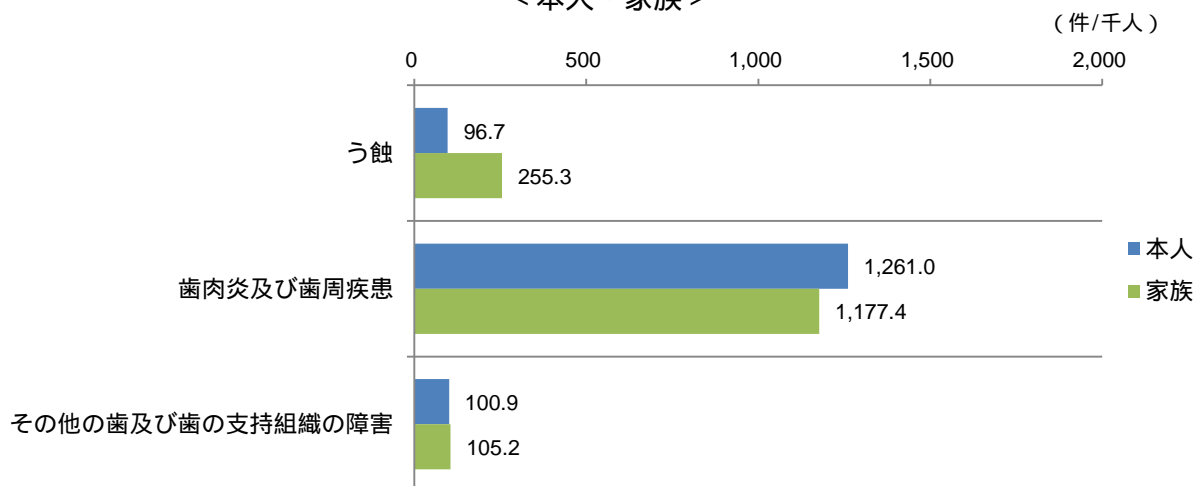


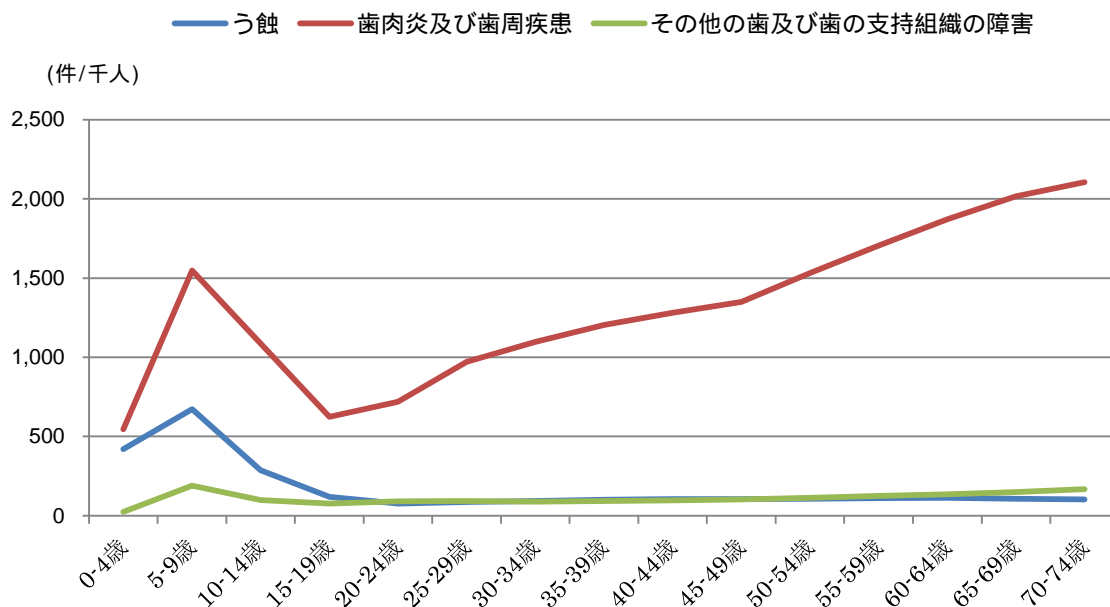
図5 歯科3疾患別受診率（1,000人当たり件数）
<本人・家族>



4. 年齢階層別にみた歯科3疾患別受診率（1,000人当たり件数）

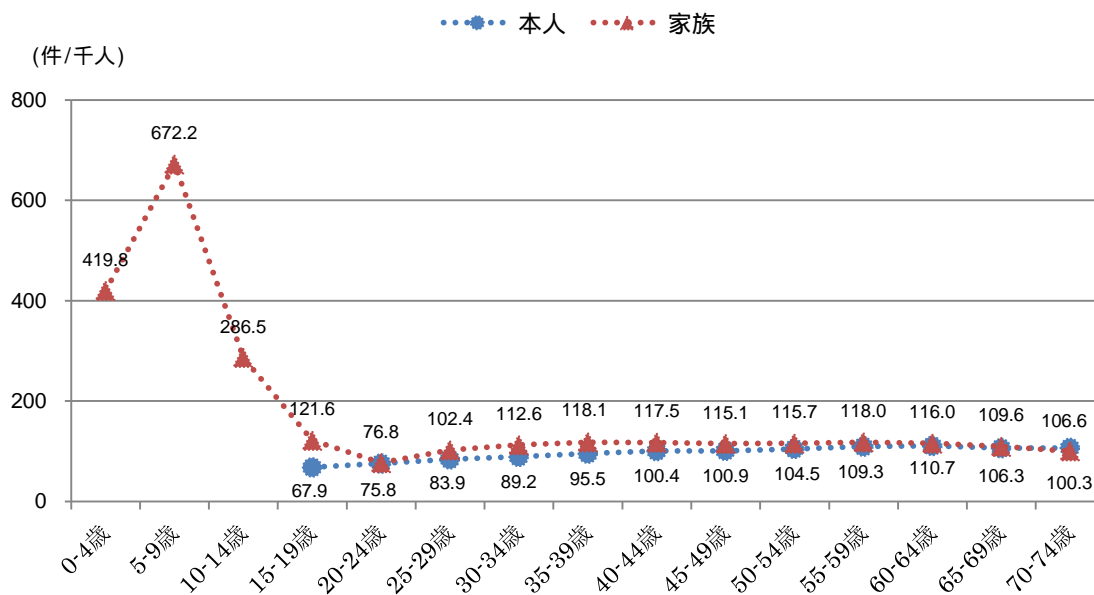
歯科3疾患について年齢階層別に受診率をみると、どの疾患も5-9歳が高い数字を示しているほか、「歯肉炎及び歯周疾患」は年齢階層が上がるにつれて高くなっている。「本人」・「家族」別にみると、3疾患とも「家族」の受診率が概ね高い傾向にある。

図6 年齢階層別受診率（1,000人当たり件数）



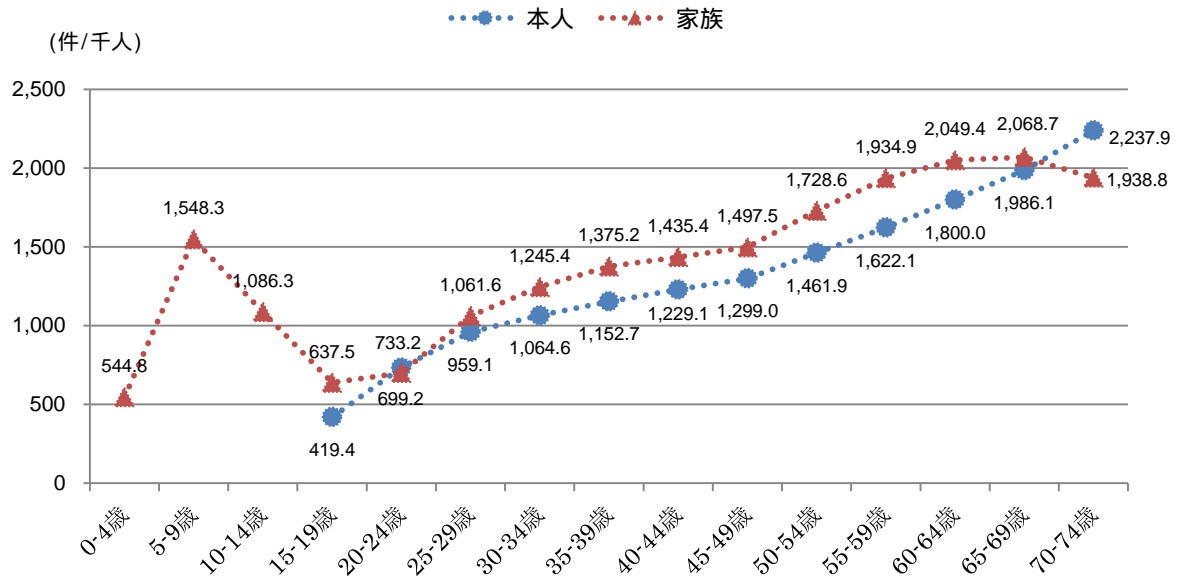
(1) う蝕

図7 年齢階層別受診率（1,000人当たり件数）



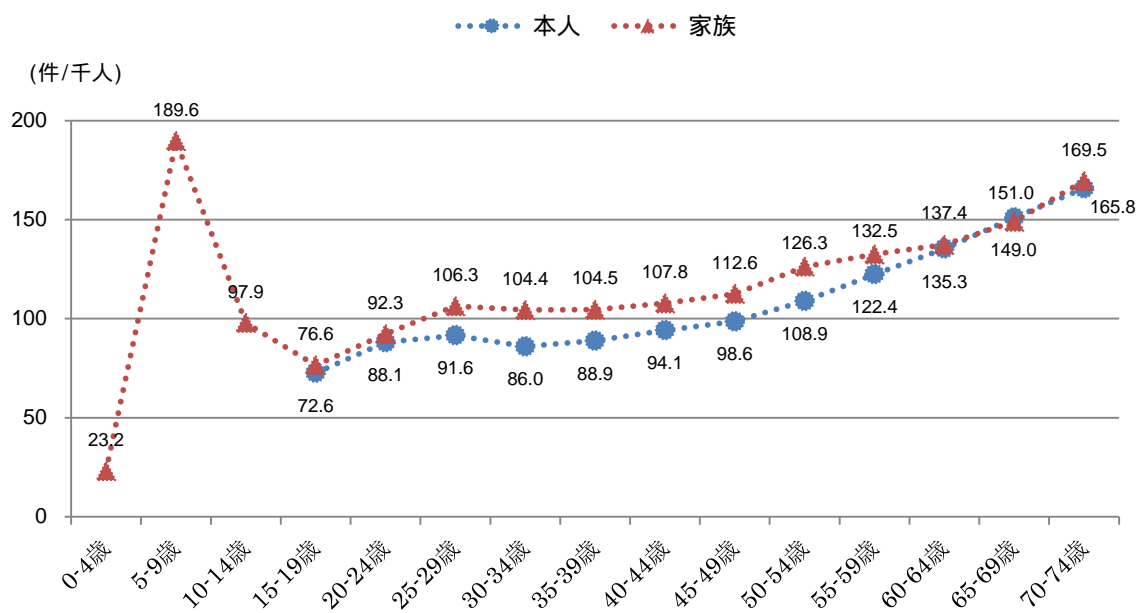
(2) 歯肉炎及び歯周疾患

図8 年齢階層別受診率 (1,000人当たり件数)



(3) その他の歯及び歯の支持組織の障害

図9 年齢階層別受診率 (1,000人当たり件数)



5 . 疾病 19 分類別にみた歯科医療費及び医療費構成割合

平成 29 年度の医療費 (調剤を除く) : 約 3 兆 1,114 億円 (1,280 組合) を疾病 19 分類別にみると、「歯及び歯の支持組織の障害」が約 4,750 億円と最も高く、全体の 15.3% を占める (p.10)。

図10 疾病19分類別医療費
<合計>

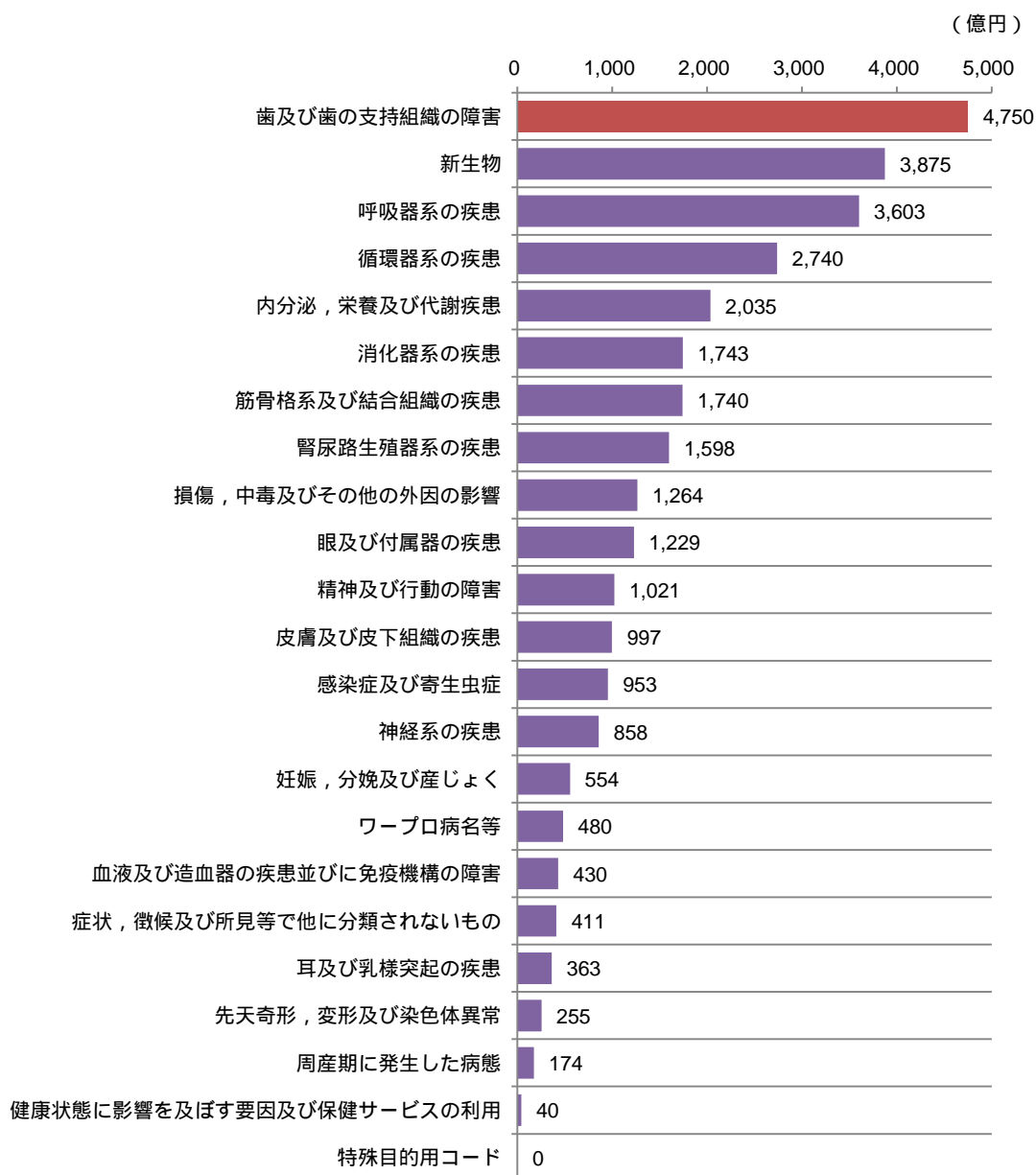
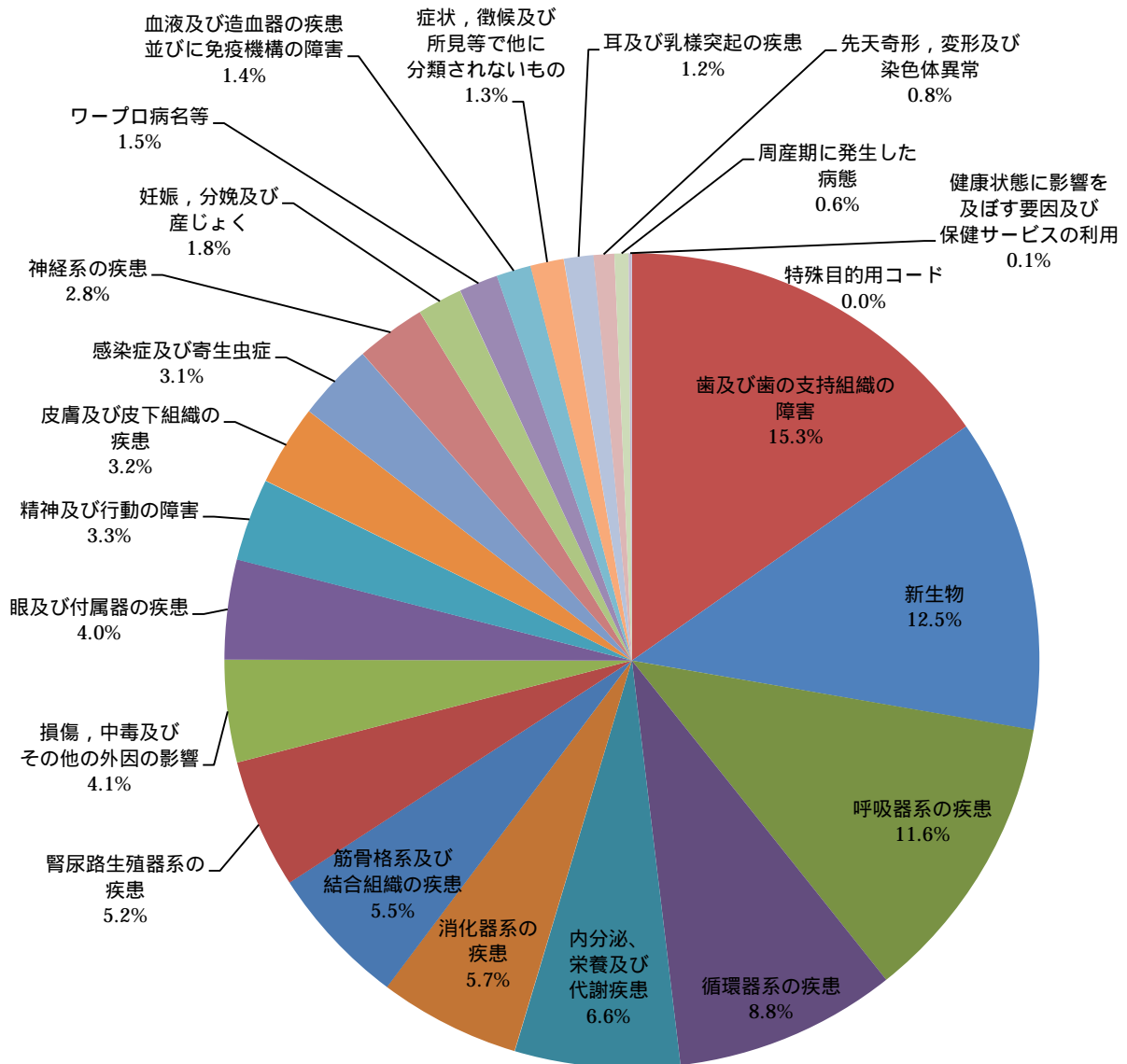


図11 疾病19分類別医療費構成割合
<合計>

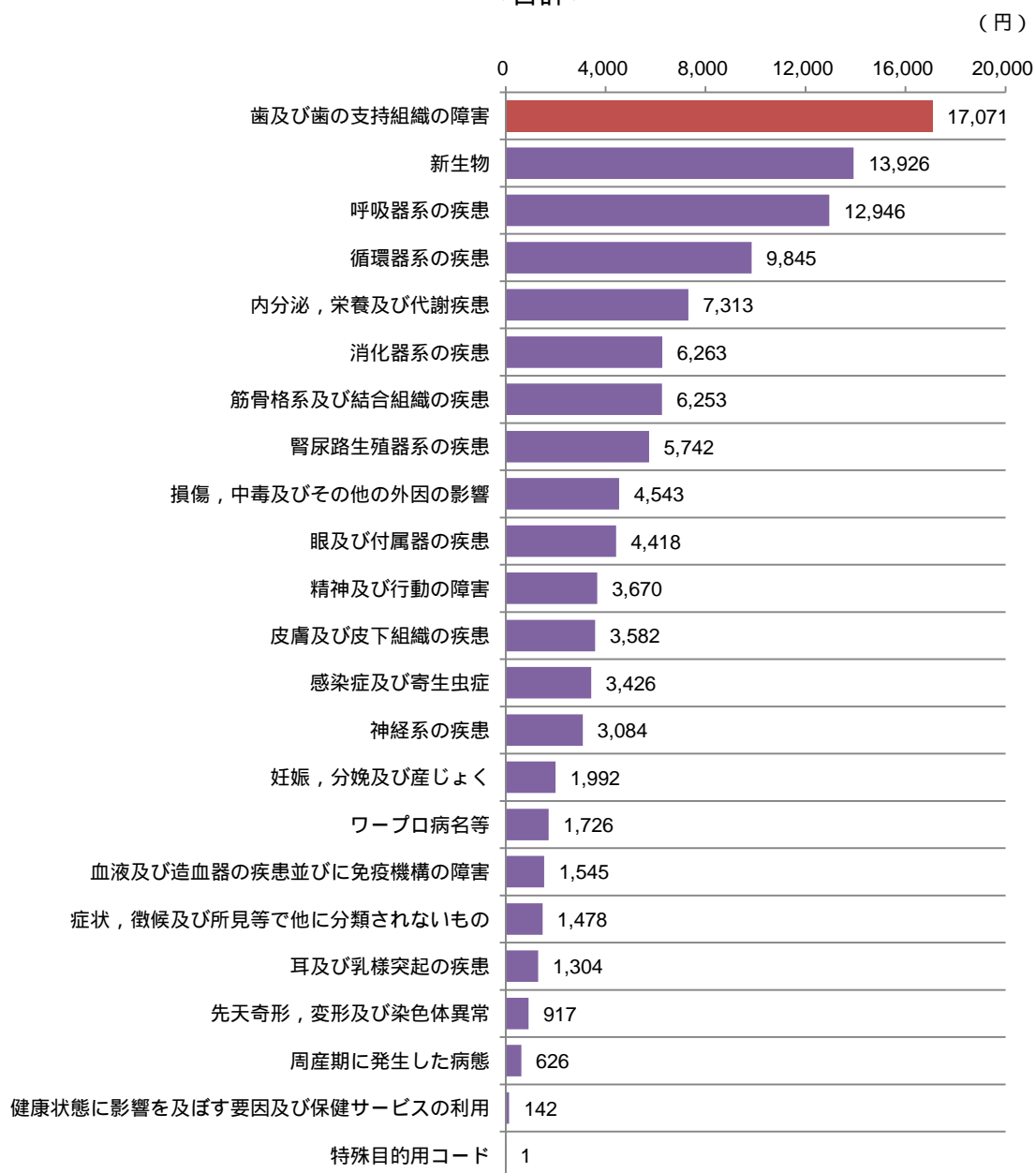


6. 疾病 19 分類別にみた 1 人当たり歯科医療費

疾病 19 分類別に 1 人当たり医療費をみると、「歯及び歯の支持組織の障害」が最も高く、1 万 7,071 円となっている。

図12 疾病19分類別1人当たり医療費

< 合計 >



7. 歯科3疾患別医療費及び医療費構成割合

「歯及び歯の支持組織の障害」:約 4,750 億円を歯科3疾患別にみると、「歯肉炎及び歯周疾患」:約 3,930 億円が最も高く、全体の 82.7%を占めている。

本人・家族別に医療費構成割合をみると(p.13)、「歯肉炎及び歯周疾患」は「本人」:85.8%、「家族」:78.4%と「本人」のほうが高く、「う蝕」は「本人」:6.2%、「家族」:13.7%と「家族」のほうが高い。

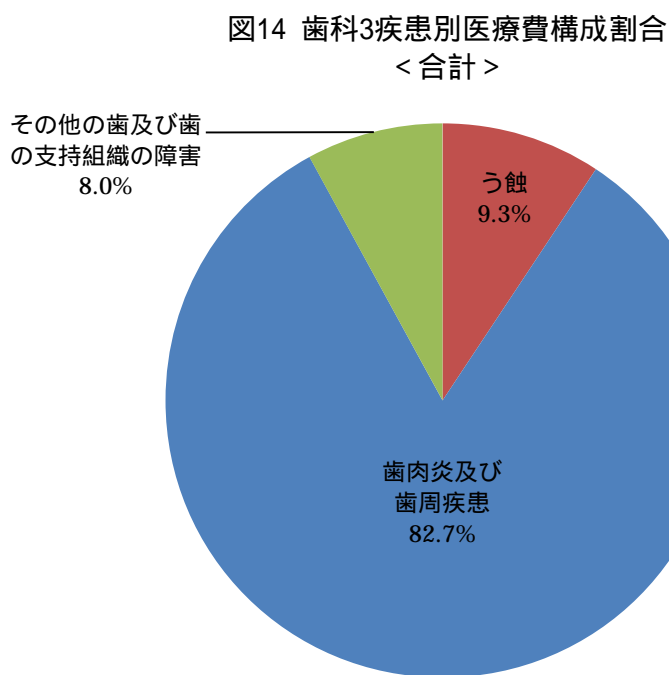
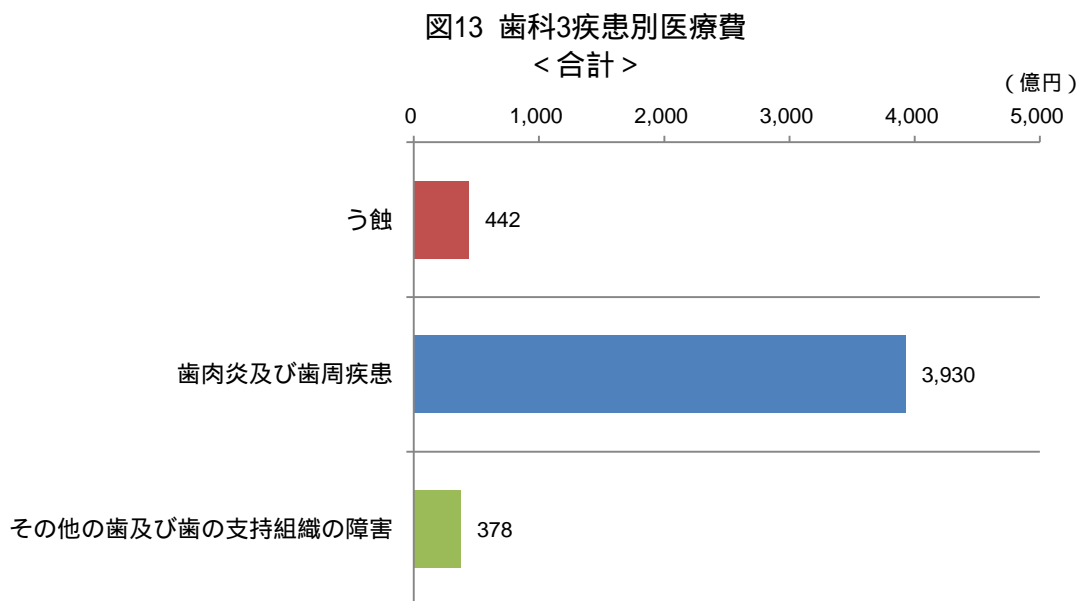


図15 歯科3疾患別医療費構成割合
<本人>

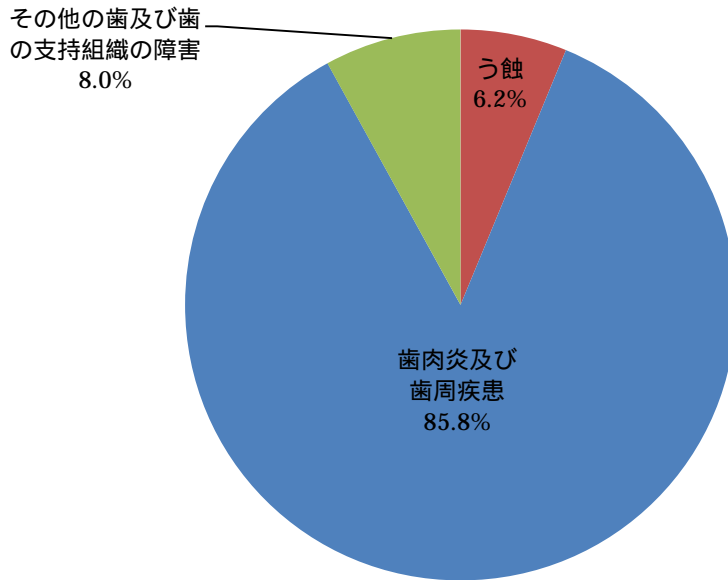
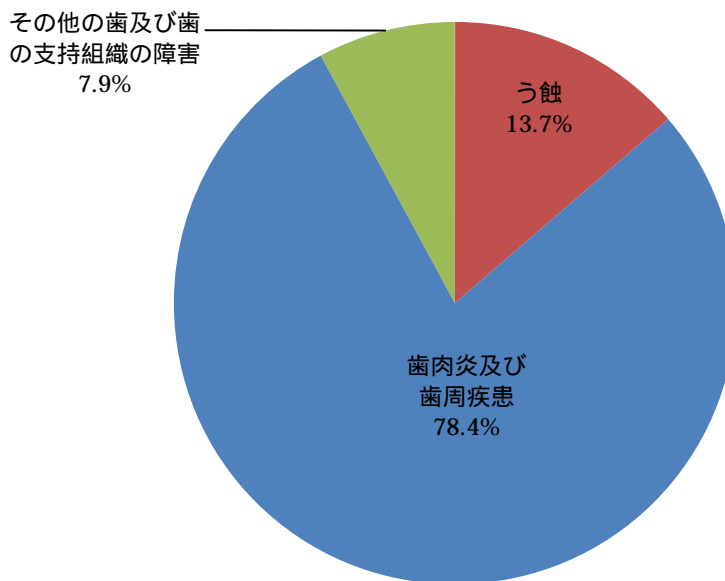


図16 歯科3疾患別医療費構成割合
<家族>



8. 年齢階層別³にみた歯科3疾患医療費及び医療費構成割合

年齢階層別に歯科3疾患医療費をみると、45-49歳が最も高く、次いで、40-44歳、50-54歳の順となっている。

年齢階層別に医療費構成割合をみると、0-14歳では、「歯肉炎及び歯周疾患」：68.2%が最も高く、次いで、「う蝕」：25.4%、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」：6.5%となっている。

15-39歳では、「歯肉炎及び歯周疾患」：83.4%が最も高く、次いで、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」：9.3%、「う蝕」：7.3%となっている。

40-64歳では、「歯肉炎及び歯周疾患」：86.4%が最も高く、次いで、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」：7.5%、「う蝕」：6.1%となっている。

前期高齢者(65-74歳)では、「歯肉炎及び歯周疾患」：86.0%が最も高く、次いで、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」：9.1%、「う蝕」：5.0%となっている。

図17 年齢階層別歯科3疾患医療費
<合計>

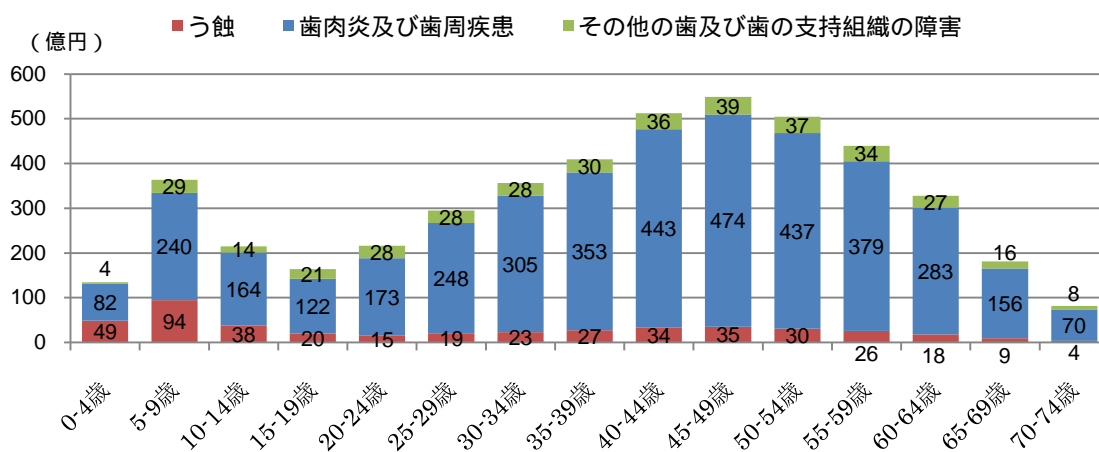
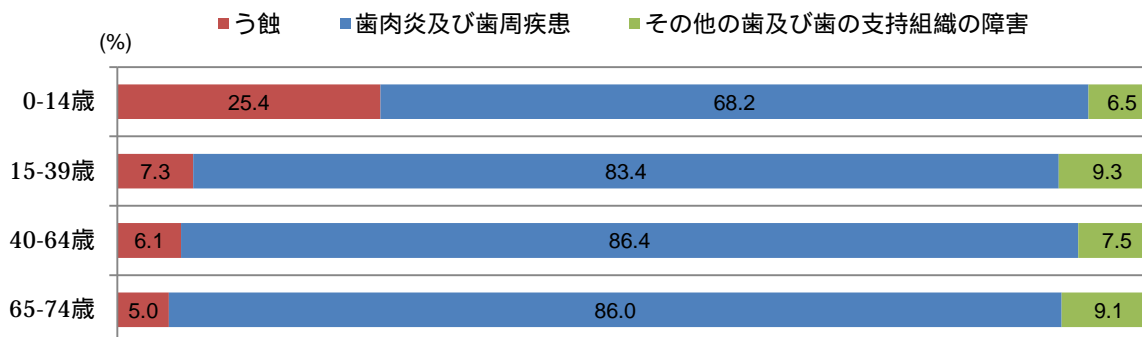


図18 年齢階層別歯科疾患医療費構成割合
<合計>



³ 年齢区分70-74歳には、75歳以上の者を含む。75歳以上の加入者は制度区分上、原則存在しないが、診療年月日の月末の年齢として年齢を計算しており、75歳の誕生日を迎える月に誕生日前に診療を受けた場合に年齢が75歳となるため、75-79歳に計上されている。このため、75歳以上の数値は70-74歳に加えて計算している。また、外国に住所を有する75歳以上の加入者についても同様の取扱いとしている。

9. 歯科3疾患別1人当たり医療費及び医療費3要素⁴

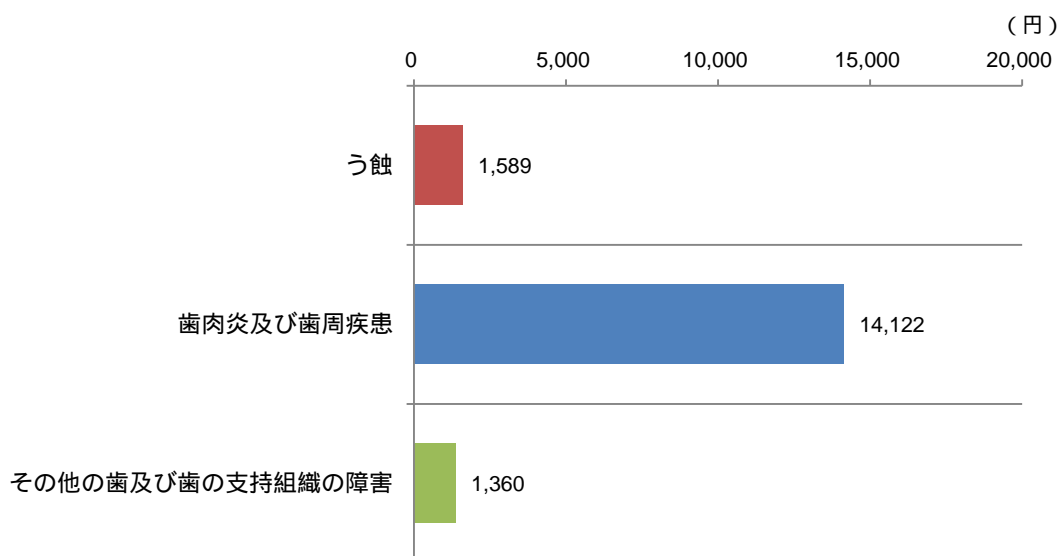
歯科3疾患について1人当たり医療費をみると、「歯肉炎及び歯周疾患」:1万4,122円が圧倒的に高く、その要因について、医療費3要素に分解してみると、受診率が極めて高いことが挙げられる。

「本人」・「家族」別にみると(p.16)、「う蝕」は1人当たり医療費及び受診率とも「家族」が高く、「歯肉炎及び歯周疾患」は「本人」のほうが高い。

表1 歯科3疾患別1人当たり医療費及び医療費3要素(合計)

疾病分類名	1人当たり医療費(円)	受診率(件/千人)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
う蝕	1,589	166.0	1.5	6,473
歯肉炎及び歯周疾患	14,122	1,224.5	1.7	6,911
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,360	102.8	2.0	6,560

図19 歯科3疾患別1人当たり医療費
<合計>

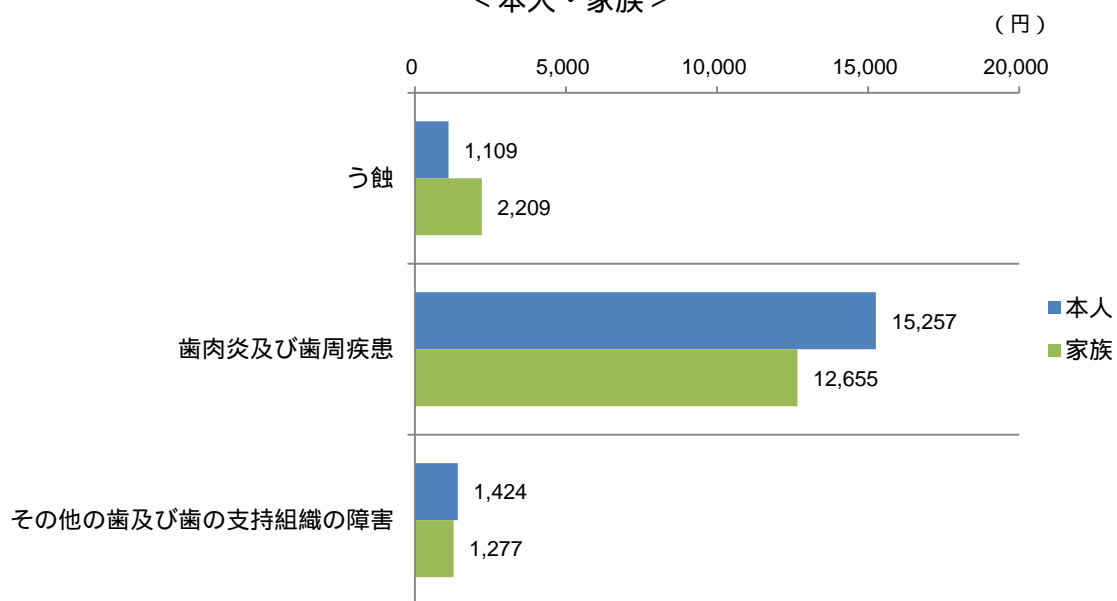


⁴ 1人当たり医療費は、受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費の積に分解することができる。
算定式：1人当たり医療費 = 受診率 × 1件当たり日数 × 1日当たり医療費

表2 歯科3疾患別1人当たり医療費及び医療費3要素(本人・家族)

区分	疾病分類名	1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
本人	う蝕	1,109	96.7	1.7	6,877
	歯肉炎及び歯周疾患	15,257	1,261.0	1.7	6,935
	その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,424	100.9	2.1	6,756
家族	う蝕	2,209	255.3	1.4	6,236
	歯肉炎及び歯周疾患	12,655	1,177.4	1.6	6,874
	その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,277	105.2	1.9	6,296

図20 歯科3疾患別1人当たり医療費
<本人・家族>



10. 年齢階層別にみた歯科3疾患別1人当たり医療費

(1) う蝕

「う蝕」について年齢階層別に1人当たり医療費をみると、「本人」では、60-64歳：1,421円が最も高く、次いで、70-74歳：1,400円、65-69歳：1,385円となっている。一方、「家族」では、5-9歳：5,580円が最も高く、次いで、0-4歳：3,010円、10-14歳：2,219円の順となっている。

図21 年齢階層別1人当たり医療費
<本人>

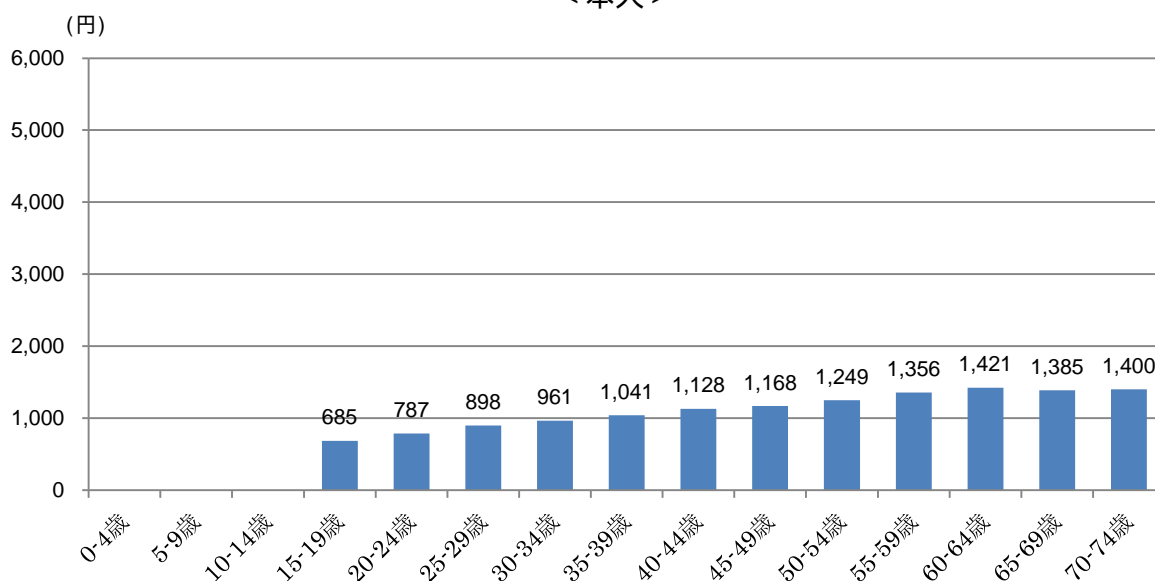
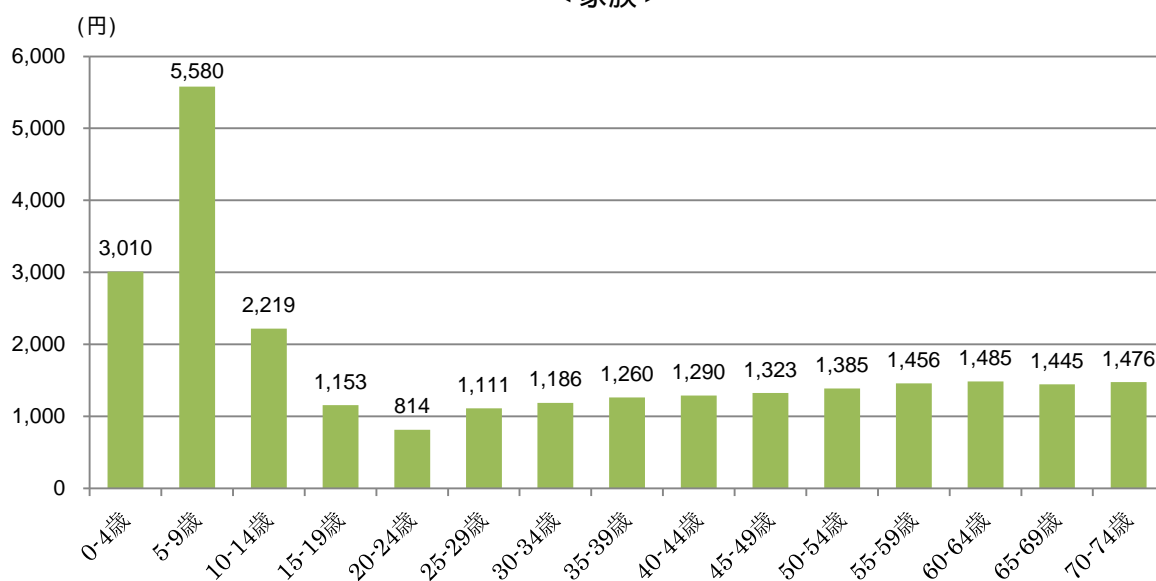


図22 年齢階層別1人当たり医療費
<家族>



(2) 歯肉炎及び歯周疾患

「歯肉炎及び歯周疾患」について年齢階層別に1人当たり医療費をみると、「本人」では、70-74歳:26,854円が最も高く、次いで、65-69歳:23,868円、60-64歳:21,788円となっている。

一方、「家族」では、70-74歳:24,118円が最も高く、次いで、65-69歳:24,104円、60-64歳:23,746円となっている。

図23 年齢階層別1人当たり医療費
<本人>

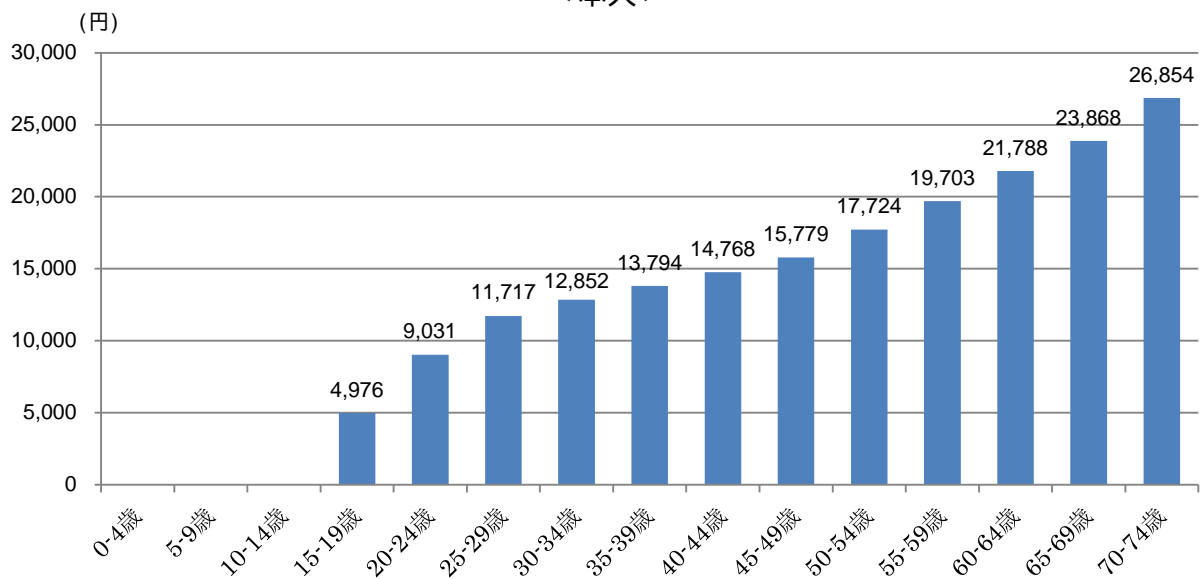
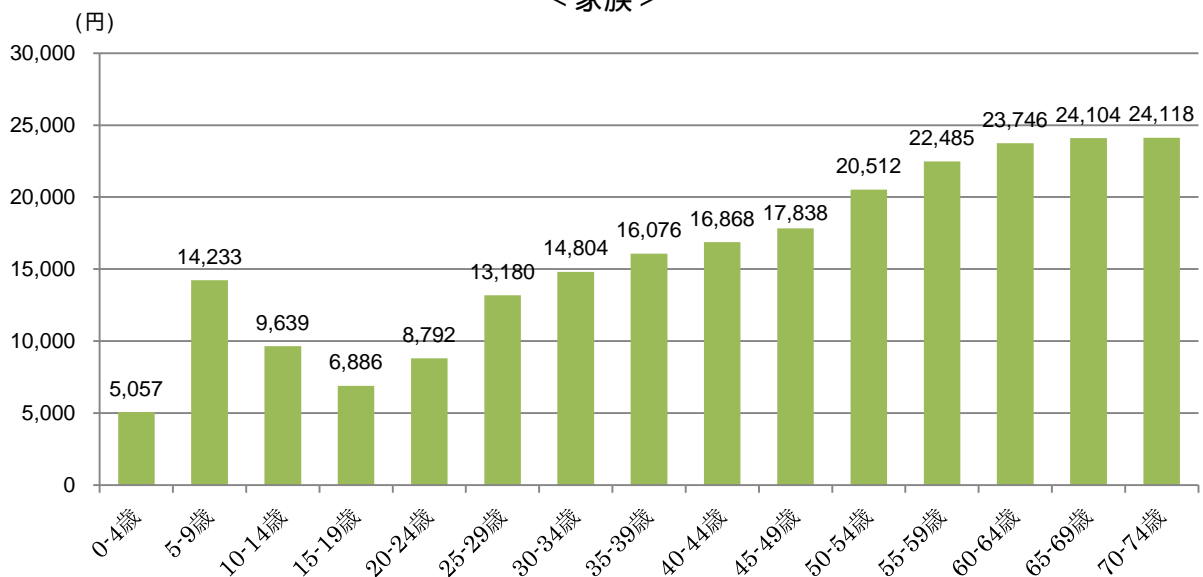


図24 年齢階層別1人当たり医療費
<家族>



(3) その他の歯及び歯の支持組織の障害

「その他の歯及び歯の支持組織の障害」について年齢階層別に1人当たり医療費をみると、「本人」では、70-74歳:2,786円が最も高く、次いで、65-69歳:2,514円、60-64歳:2,182円となっている。

一方、「家族」では、70-74歳:3,008円が最も高く、次いで、65-69歳:2,333円、60-64歳:2,036円となっている。

図25 年齢階層別1人当たり医療費
<本人>

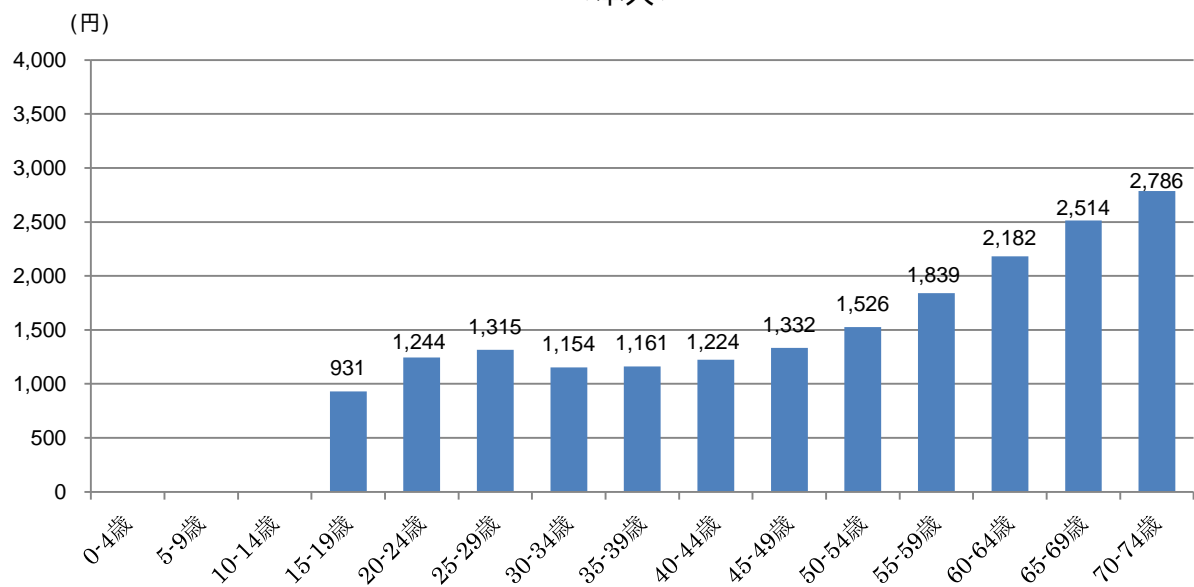
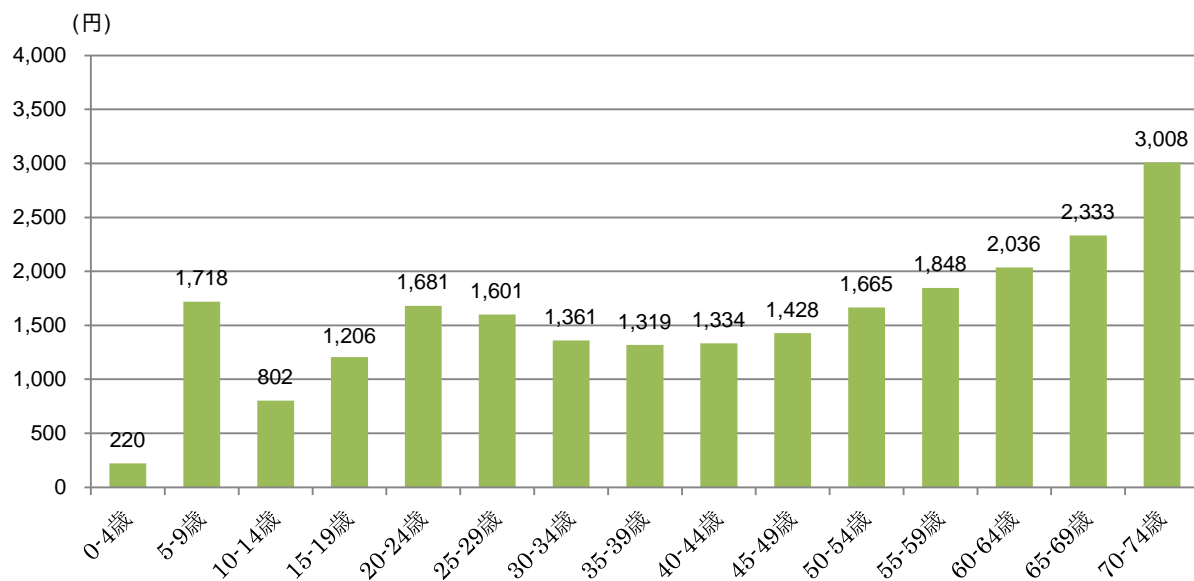


図26 年齢階層別1人当たり医療費
<家族>

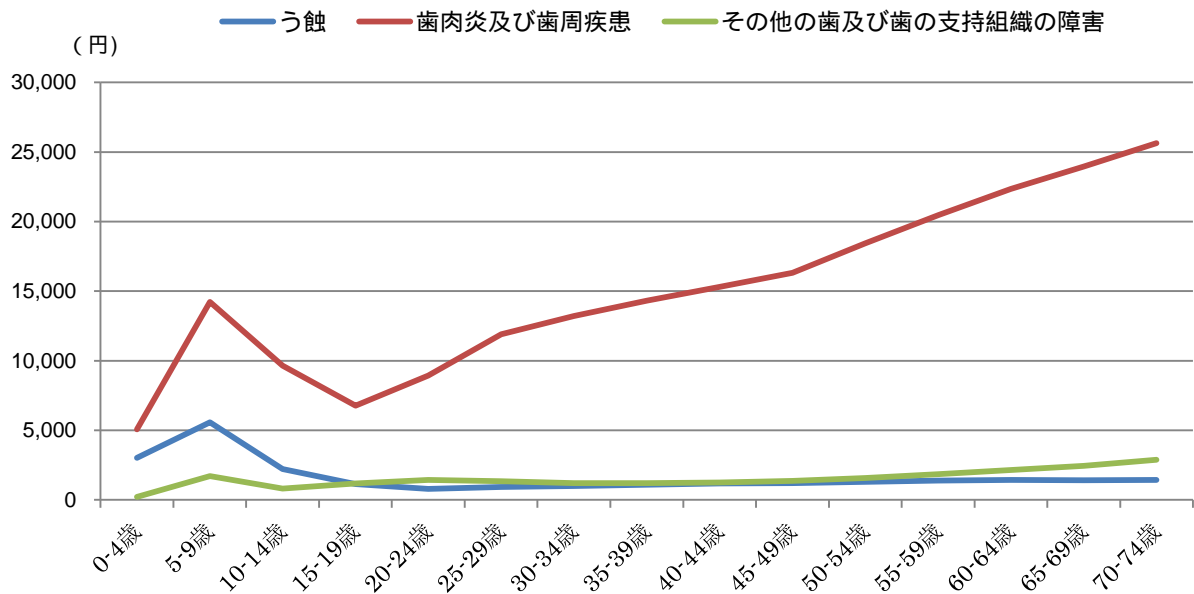


[参考資料] 歯科疾患別・年齢階層別 1人あたり医療費

歯科 3 疾患について年齢階層別に 1 人あたり医療費をみると、どの疾患も 5-9 歳が概ね高い数字を示しているほか、「歯肉炎及び歯周疾患」は年齢階層が上がるにつれて高くなっている。

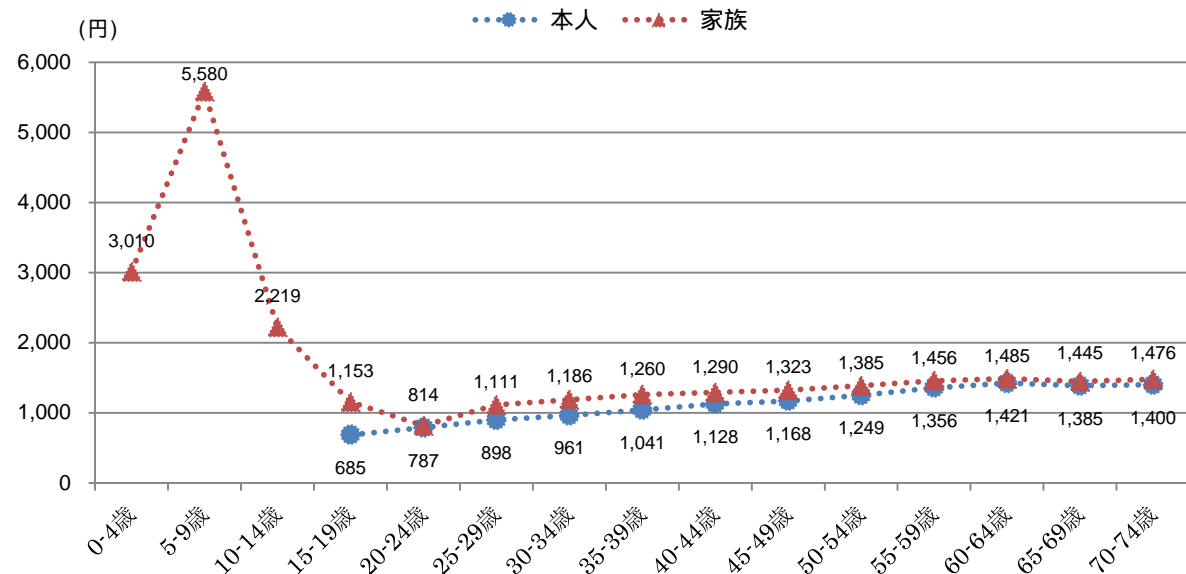
「本人」・「家族」別にみると、3 疾患とも「家族」の 1 人あたり医療費が概ね高い傾向にある。

図27 年齢階層別1人あたり医療費



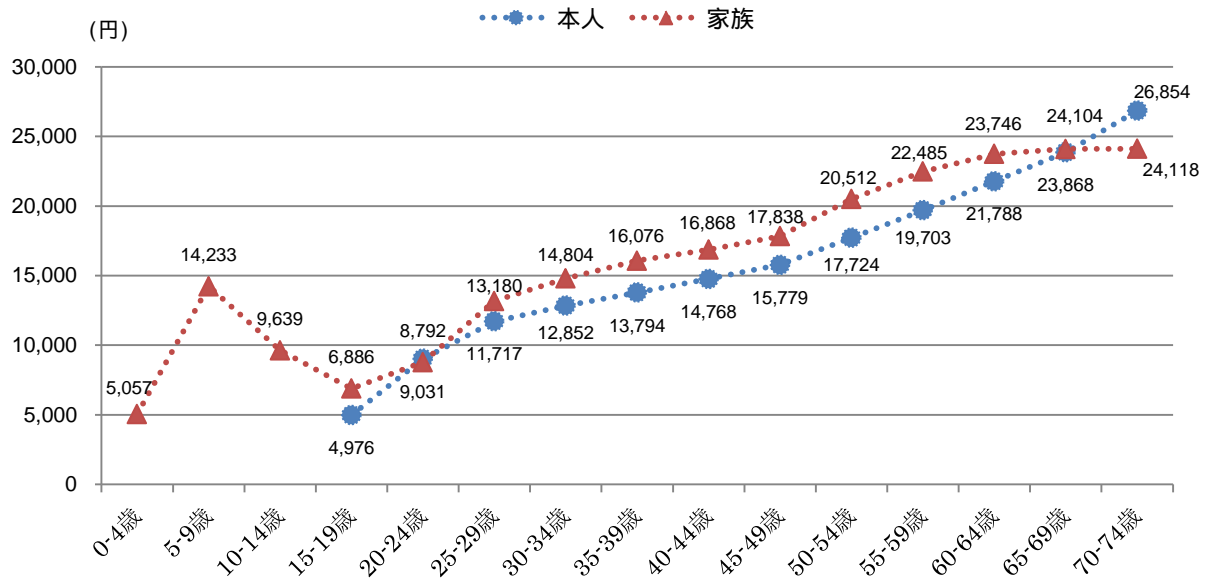
(1) う蝕

図28 年齢階層別1人あたり医療費



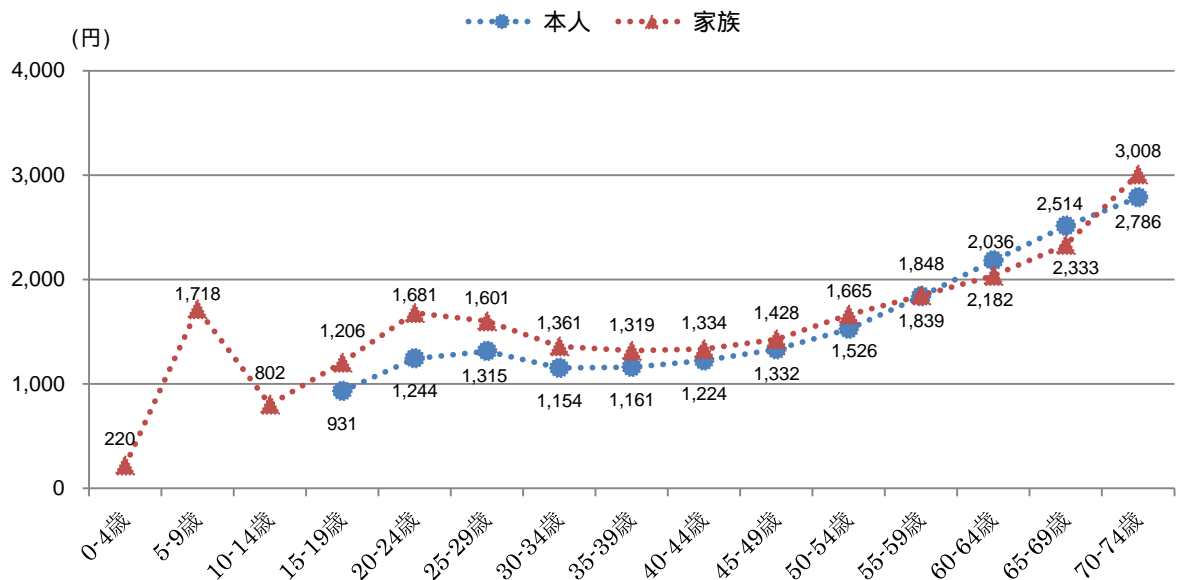
(2) 歯肉炎及び歯周疾患

図29 年齢階層別1人当たり医療費



(3) その他の歯及び歯の支持組織の障害

図30 年齢階層別1人当たり医療費



[参考資料]

図 31 歯科疾患別医療費 3 要素

【う蝕】

< 本人 >

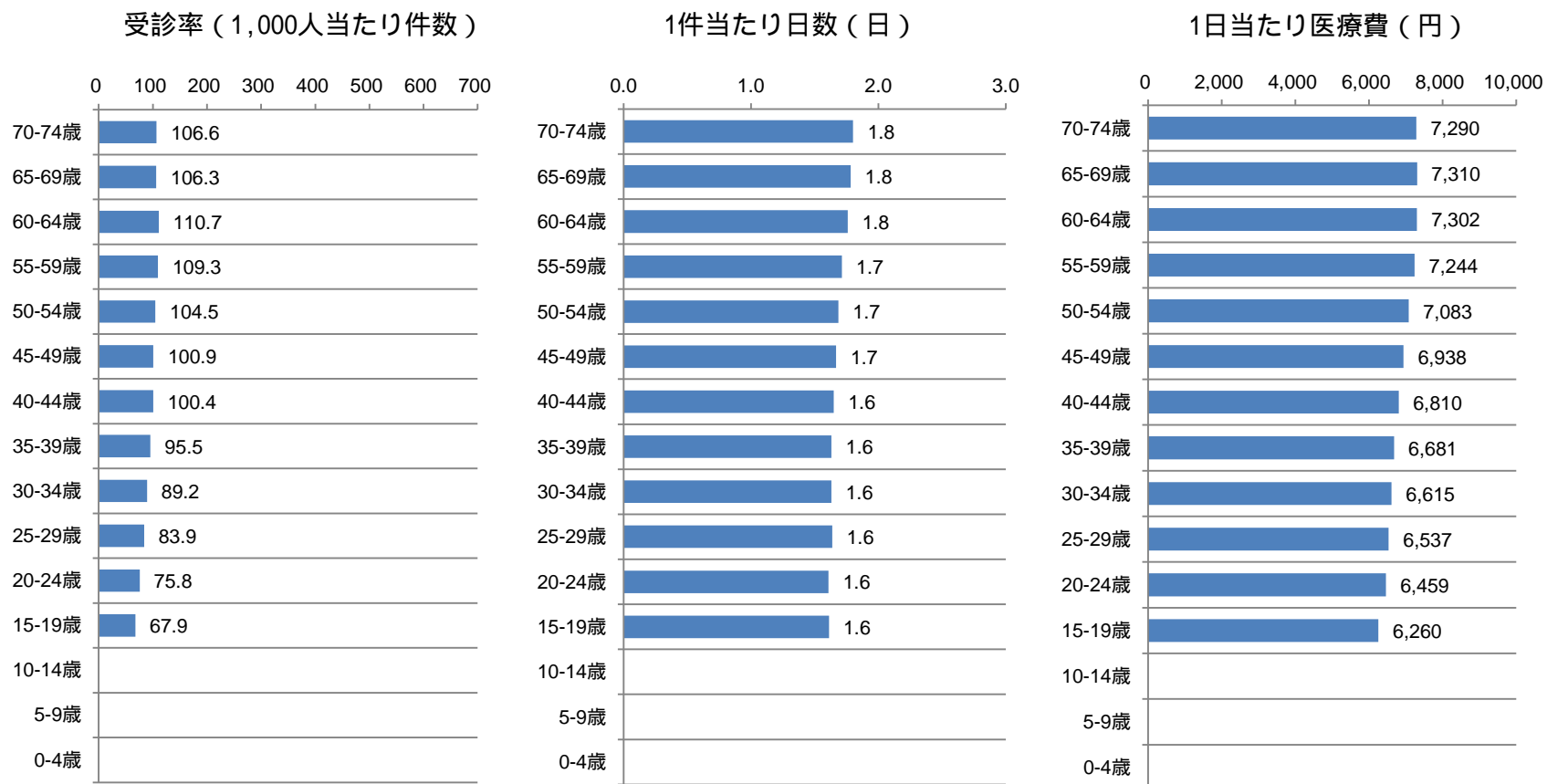


図 32 歯科疾患別医療費 3 要素

【う蝕】

< 家族 >

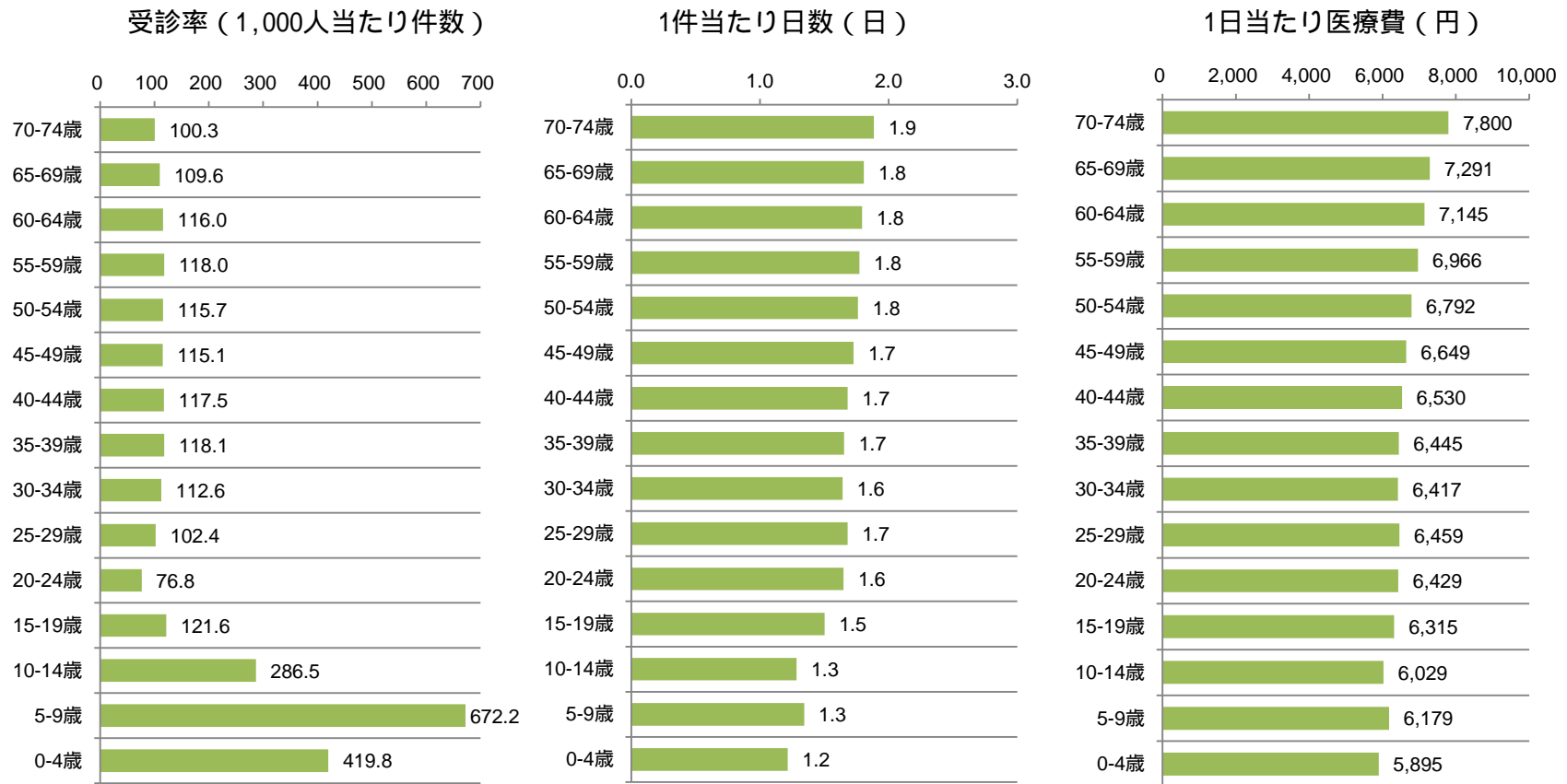


図 33 歯科疾患別医療費 3 要素

【歯肉炎及び歯周疾患】

< 本人 >

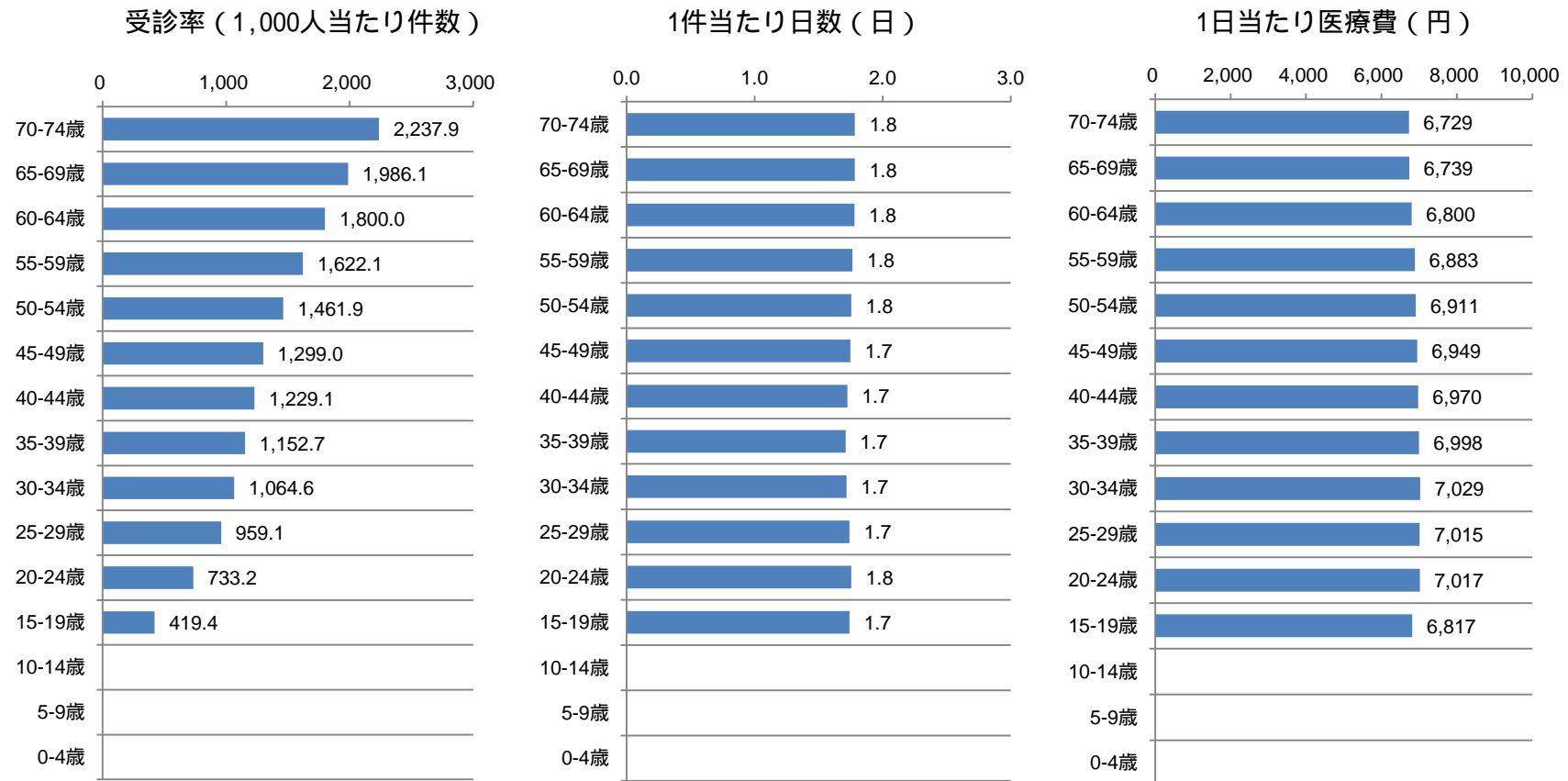


図 34 歯科疾患別医療費 3 要素
 【歯肉炎及び歯周疾患】
 < 家族 >

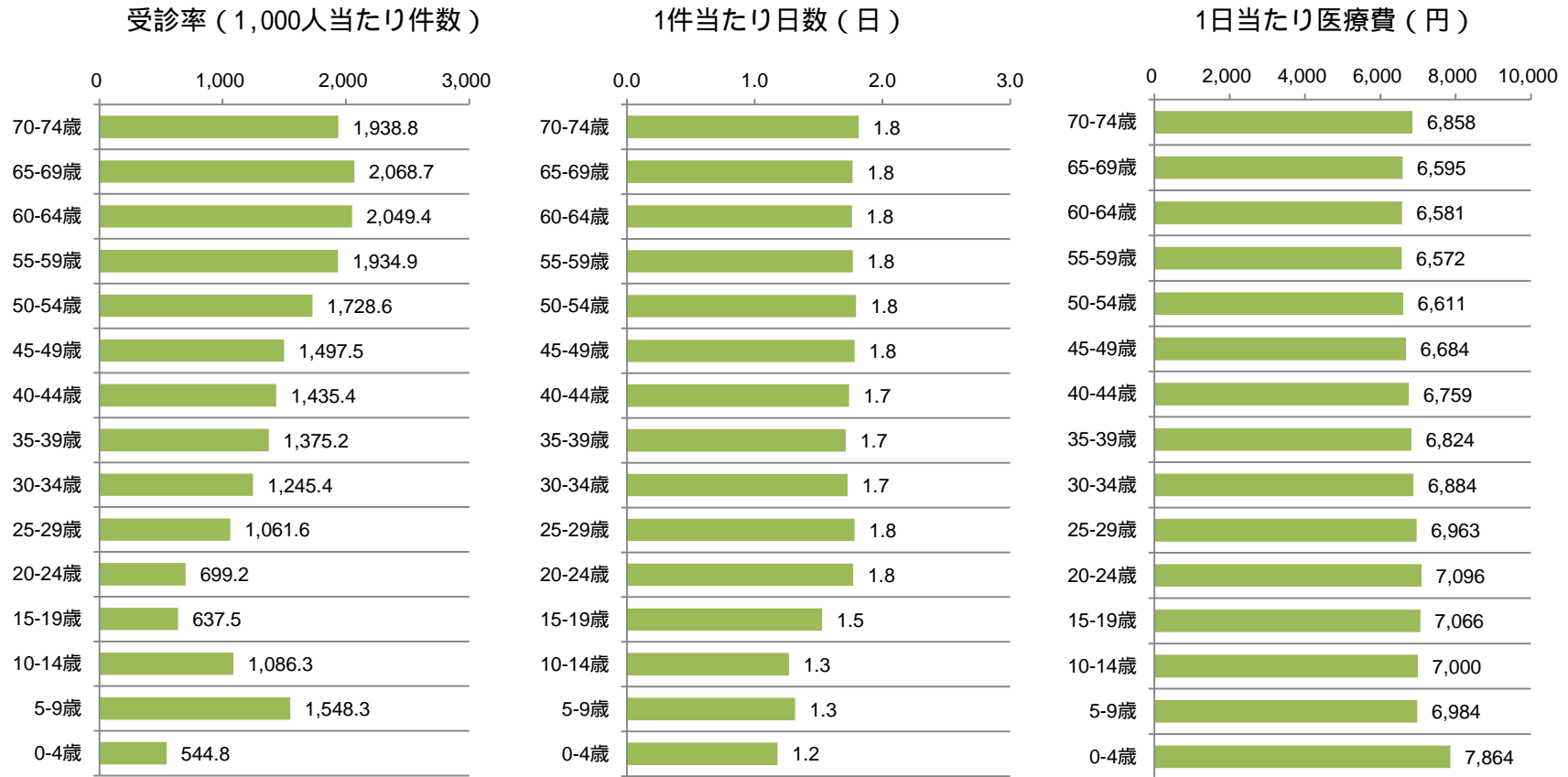


図 35 歯科疾患別医療費 3 要素
 【その他の歯及び歯の支持組織の障害】
 < 本人 >

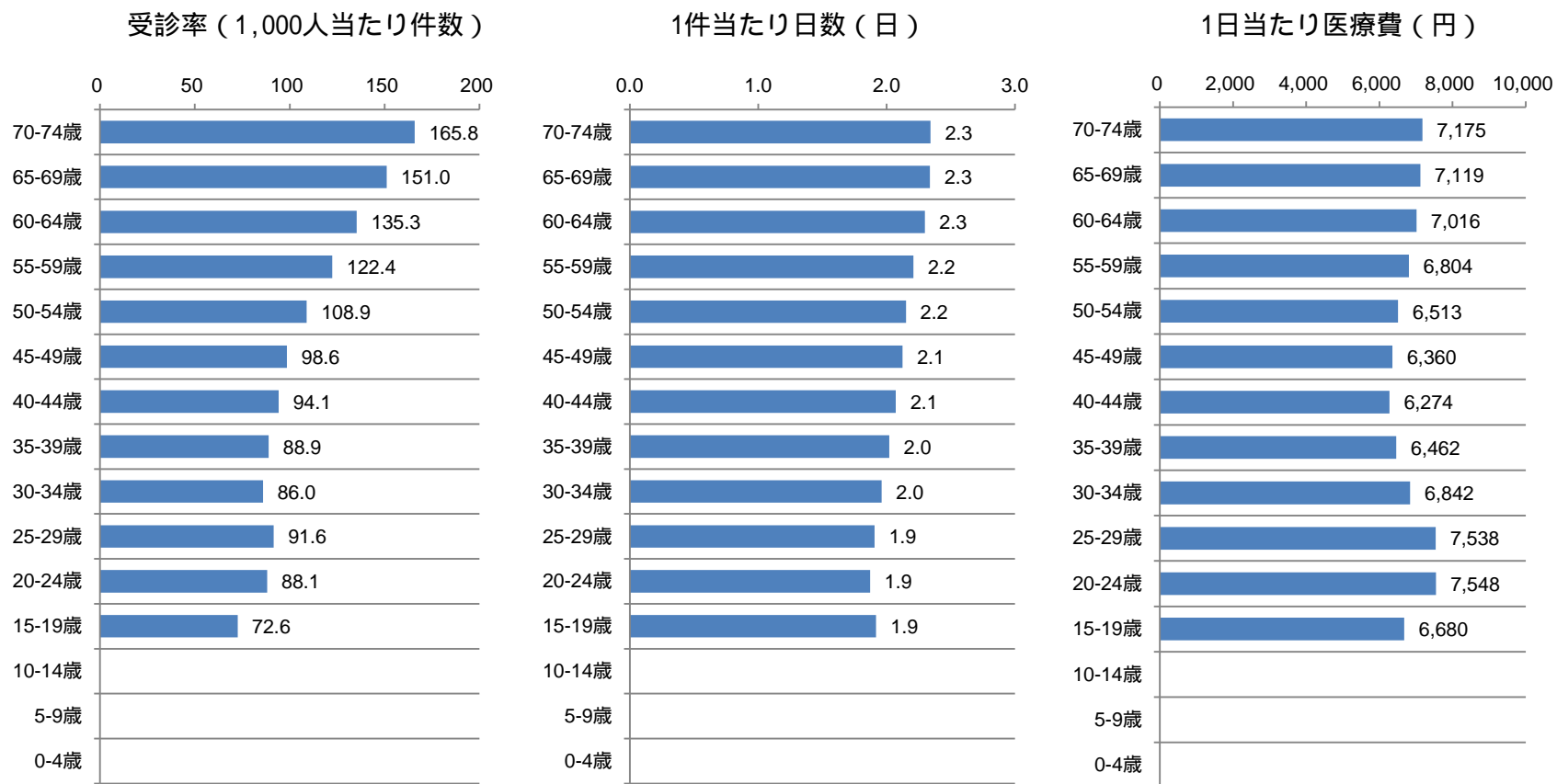
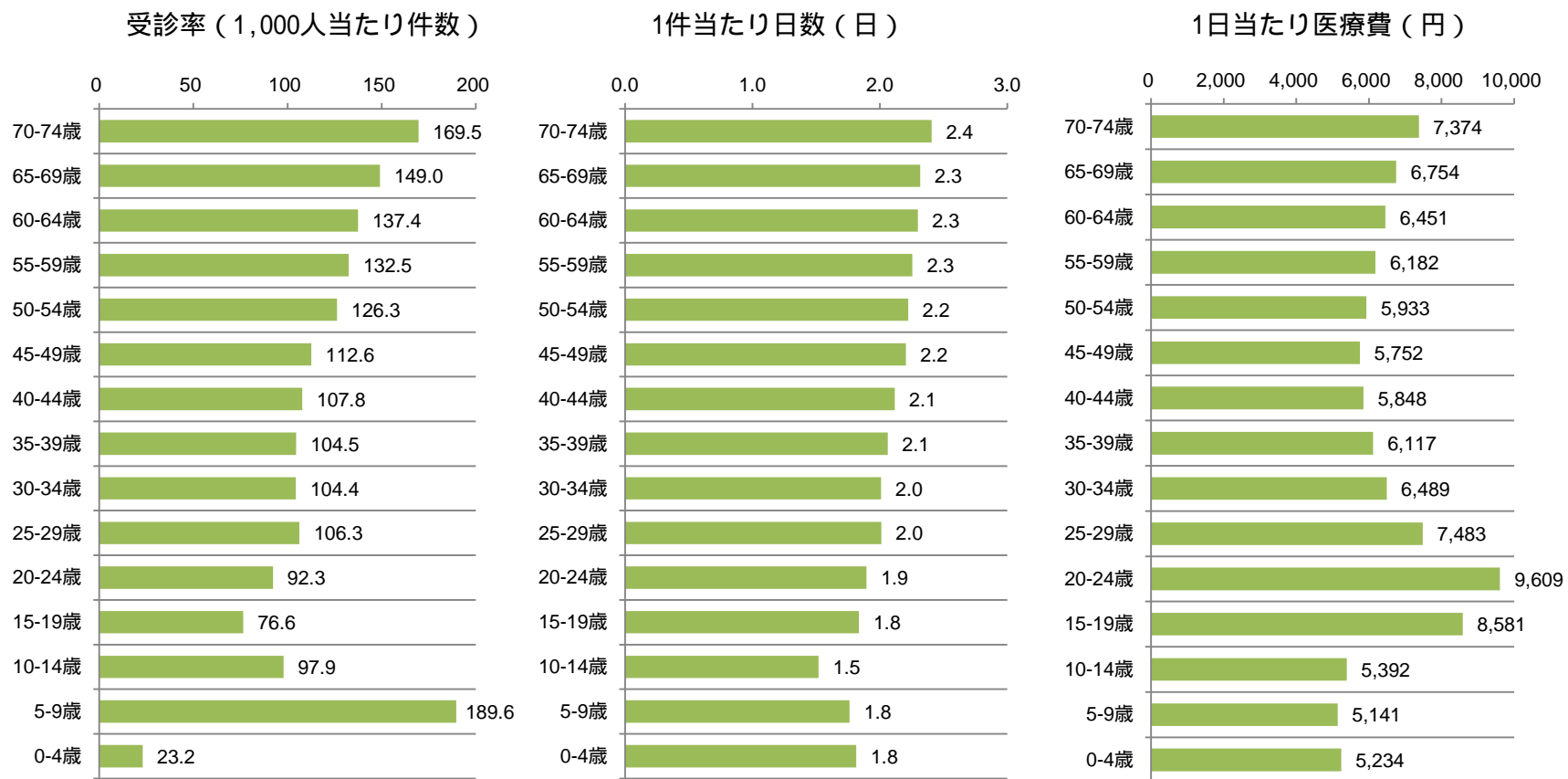


図 36 歯科疾患別医療費 3 要素
 【その他の歯及び歯の支持組織の障害】
 < 家族 >



留意点及び用語の解説

傷病名

レセプト記載の傷病名のうち、当該レセプトの代表疾病となる傷病名を主傷病とし、1レセプトにつき1傷病名としてカウントしている。

1人当たり医療費

当該年度の1人当たり医療費は、当該年度の医療費を、当該年度の各月末の平均加入者数の和を12で除したもので、除したものである。

受診率(1,000人当たり件数)

当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数(各月末の加入者数の和を12で除したもの)で除し1,000倍したものである。

1件当たり日数

当該年度の1件当たり日数は、当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものである。

1日当たり医療費

当該年度の1日当たり医療費は、当該年度の医療費を診療実日数で除したものである。

1人当たり医療費と医療費3要素分解

「1人当たり医療費」は、「受診率」、「1件当たり日数」、「1日当たり医療費」の積に分解することができます。

$$1人当たり医療費 = 受診率 \times 1件当たり日数 \times 1日当たり医療費$$
